

令和7年第6回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	
1(7番) 坂口 勝彦	1 労働者のメンタルヘルス対策の強化について	(1) 医療・福祉分野で働く職員の精神的負担の状況把握と支援が必要と考えるが、見解を伺う。
		(2) 労働者の心の健康を保つために相談アクセス改善策と専門機関との連携強化をすべきでは。
		(3) 職場復帰支援と再発防止に関する取組を拡充すべきでは。
		(4) 市職員に対するストレスチェック制度の活用状況とメンタルヘルス対策の今後の方針は。
2(14番) 八尋 一男	1 敬老会運営費助成事業について	(1) 対象者は現在の9千人から団塊世代の加入に伴い増加し2030年には15千人となるが同じ制度を継続するのか。
		(2) 祝賀会不参加者には見守りを兼ねて商品券等配布されているが、小規模区の財源難に対しどう考えているか。
		(3) 祝賀会をせず記念品配布した区長からは留守が多く時間と労力を要したと聞く。市で合同開催はできないか。
		(4) 式典は市主催で開催し、祝賀会は区ごとに実施する方法についてどう考えるか。
		(5) 各地域から代表者を集め意見交換やヒアリングを実施してはどうか。
	2 竜岩自然の家利活用拡大について	(1) 市内7か所に指定管理者制度を導入しているが、竜岩自然の家は直営である。その理由は。
		(2) 新規カリピーターか、家族、団体、個人など分析データーはあるか尋ねる。
		(3) 利用者が何故伸びないのか、伸ばすためにどうすべきか尋ねる。
3(1番) 佐々木 忠孝	1 シティブランディング部署の新設について	(4) 老朽化している施設・設備の改修も予想されることから経験豊富な指定管理者に任せる方向で検討しては。
		(1) シティブランディングを推進する部署の新設について、市の見解を伺う。
4(6番) 檜木 孝一	1 認知症高齢者の特殊詐欺被害について	(1) 地域での被害をどのように把握しているか。被害の状況を問う。
		(2) 高齢者支援課や介護事業所、消費生活センター、警察署等の連携はできているか。どのような協議をしているか。
		(3) 成年後見制度や家族信託の啓発及び相談会をもっと実施すべきではないか。
	2 自治体DXの推進について	(1) 「行かない窓口」実現に向けた検討状況を問う。
5(10番) 段下 季一郎	1 子育て支援の充実について	(2) 公共施設のオンライン申請・決済の仕組みを早急に導入する必要がある。進捗状況を問う。
		(1) 5歳児健診をオンラインで実施すべきでは。
	2 障がい者福祉の充実について	(2) 公共施設やコミュニティセンターに木製の遊具やおもちゃを整備すべきでは。
		(1) 認知症高齢者等事前登録制度を障がい者にも対象を拡大すべきでは。
	3 不登校支援について	(2) 市の窓口に字幕表示装置を導入すべきでは。
		(1) オンラインの不登校支援、メタバースを活用すべきでは。

令和7年第6回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	
6(2番) 古賀 新悟	1 物価高騰対策について	(1) 物価高騰についてどのように考えているか。また、どのような手法で市民生活の実態の把握を行っているのか。
		(2) これまでの物価高騰対策等の取り組みについて、どのように総括しているのか伺う。
		(3) 物価高騰対策で国と県に対し、何をどのように求めてきたのか伺う。
	2 性感染症対策について	(1) 梅毒が、調査が始まって以降、最多を更新し続けていることを、どう考えるか伺う。
		(2) 保健所では、性感染症などの検査・相談を実施しているが、実施状況について把握しているのか伺う。
		(3) 教育委員会は、性感染症対策として包括的性教育を行う必要があると考えるが、見解を伺う。
7(12番) 前田 倫宏	1 日本遺産	(1) 日本遺産の認定を再申請しない方針となったが、今後の魅力向上や活性化にどのように取り組んでいくのか。
		(2) 新たに日本遺産の認定を目指すため、長崎街道シュガーロードの加盟参加意向を検討できないか。
	2 J R 二日市駅市民ホール	(1) J R 二日市駅市民ホール内における特産品の販売を実施すべきと考えるが、関係団体との検討状況は。
		(2) 観光拠点としての魅力発信という観点から、リニューアルの検討をすべきと考えるが、見解は。
	3 物価高騰対策支援	(1) 近隣市では、独自で物価高騰対策支援を実施しているが、どのような事業を展開しているのか。また、財源は。
		(2) 国の交付金を前提とした支援策を実施する場合、本市が想定している対象及び支援事業をどう考えているのか。
		(3) 国の交付金を最大限活用し、全市民を対象とした事業に市独自の上乗せ支援を実施すべきと考えるが、見解は。
	4 待機児童問題	(1) 待機児童等の要因として、受け皿不足や保育士不足による受入制限等が考えられるが、本市の具体的な要因は。
		(2) 保育所・届出保育施設等の空き状況を取り纏めて公表できないか。また、利用料の一部を助成すべきでは。
8(8番) 山本 加奈子	1 介護・福祉業界の人材不足解消に向けた取り組みについて	(1) 介護就職フェアへの参加事業者数や就職などに繋がった件数は。
		(2) 高齢者向けファミリーサポートセンターを実施している市もあるが、本市でも導入してはどうか。
		(3) 介護・福祉事業者と、地域の有償ボランティアを繋ぐ「スケッター」事業を取り入れてはどうか。
	2 J R 二日市駅の利便性向上について	(1) 地域公共交通計画にあるコミュニティバスの見直し時期と西口に停留所を設ける見直しは。
		(2) 高齢者、障がい者等を対象に東西改札口間の移動を支援する通行券補助事業が出来ないか。
9(18番) 辻本 美恵子	1 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税をどのように考え、取り組んでいるのか。
		(2) 用途を選択できるようになっているが、これまでの項目ごとの寄付実績は、どれくらいか。
		(3) 事業開始時に項目を設定した時の活用方針はどのようなものであったか。
		(4) リピーター率は調査しているのか。
		(5) 寄付額の実績、活用状況の公表を具体的にすべきではないか。

令和7年第6回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	
10(16番) 宮崎 吉弘	1 大規模災害時、小中学校体育館の電源確保について	(1) 小中学校体育館での避難所生活においてどれくらいの電気量が必要と考えられるのか。
		(2) 長期にわたり停電が発生した場合、体育館の電源の確保は、どのように考えられているか。
		(3) 脱炭素化も含め学校体育館に再生可能エネルギー設備等の導入を検討すべきでは。
11(9番) 吉村 陽一	1 介護事業所への支援と介護人材確保について	(1) 過去5年間で廃業、事業休止等した市内の介護事業所の件数とその理由を伺う。
		(2) 食品の急激な物価高騰への対策として市独自で食材費の支援をしてはどうか。
		(3) 子育て世代の介護職員に向けて保育料の補助を実施してはどうか。
		(4) 昨年の6月に市長へ介護職員の処遇改善を求める陳情書が提出されたがその後の進捗は。
12(17番) 西村 和子	1 いのちと相手を大切にする教育の推進について	(1) 中学生子育てサロンは、保護者の評価もよいと聞いているが、市の評価はどのようなものか。
		(2) 中学生子育てサロンを全中学校へ展開すべきではないかと考えるが見解を尋ねる。
		(3) 中学生子育てサロンを筑紫野市で主体的に実施していくために、どのような準備を考えているのか。
		(4) 市内小中学校では、盗撮などの性犯罪に関する調査は行われているのか。また実情をお尋ねする。
		(5) 福岡県作成性暴力根絶動画「境界線ってなに？」は評価が高いがどのように活用されているのか。
		(6) 相手を大切にするための性教育はどのように進める方向か。
	2 スポーツ施設の整備とまちづくりについて	(1) スポーツ施設の整備地は、総合的なまちづくりとして位置付けるべきではないか。
		(2) 市民全体が賛成する整備地は考えにくいため、次善の策として市民全体に意見を聞き決定してはどうか。
		(3) 整備予定のスポーツ施設の利用が難しい方々へはどのような対策を考えているのか。
13(3番) 春口 茜	1 奨学金貸与事業について	(1) 本市における高校生・大学生の奨学金返済状況の現状をどのように認識しているか。
		(2) 所得連動返済型(出世払い型)奨学金制度の導入可能性について、市としての見解を伺う。
		(3) 人材不足分野における、市内就職者への返還免除制度創設の検討余地はあるか。
		(4) 中高生・保護者への奨学金情報提供の強化(周知手段・相談体制)の改善策についての見解は。
	2 市の組織体制と働き方について	(1) 相次ぐ不祥事の原因を、組織体制や働き方など構造面からどう分析しているのか。
		(2) 若手職員の結婚・住宅確保など生活基盤を支える支援制度や、福利厚生改善の可能性はあるか。
		(3) 業務量・残業時間・人員配置等が見える化し、それを基に公平な人事評価や適切な人員配置にすべきでは。
		(4) 職員宣誓書の実効性をどう高めるか。
		(5) 倫理研修・自己啓発・管理職研修の強化が必要ではないか。
		(6) 時短窓口を含む働き方改革施策の導入をしては。
	3 塔原一号交差点について	(1) 塔原一号交差点周辺の交通実態を市はどう把握しているか。
		(2) 地域住民から寄せられている危険箇所の声に対し、市としてどのように対応していくのか。

令和7年第6回(12月)筑紫野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 題 目	
14(5番) 赤司 祥一	1 本市における市民への情報発信	(1) 現在本市が運用している市民への情報発信ツールは何があるか。主なものを全て教えてください。
		(2) 単身世帯マンションの居住者等も含め、市の広報紙が市民にどれほど読まれているか実態を把握しているか。
		(3) 市の公式LINEアカウント登録者数が対人口比では筑紫地区内で最も低くなっているがどう捉えているか。
		(4) 登録者の年代別登録者数はそれぞれ何名か。また、そこにはどのような課題があるか。
		(5) セグメント配信を行っている「市のお知らせ」は、カテゴリー別にそれぞれ何名ずつの登録者数があるか。
		(6) つくしちゃんLINEスタンプを増やし、市の公式LINEアカウント登録を条件に無料配布するのはどうか。
15(15番) 田中 允	1 市役所業務のDX推進について	(1) 市役所業務のデジタル化の現状と今後の推進について伺う。
		(2) 福岡県庁にはDX推進の雛型があると聞くが市にもあるのか。
	2 シティブランディングプロジェクトについて	(1) 趣旨と進め方について
		(2) 経費について
	3 教育行政について	(1) 全国学力テストの結果と対策について伺う。
		(2) 各学校ごとの結果について公表できないか
	4 筑紫野市の拠点開発と都市機能の集約について	(1) 市内中心区域の開発には鉄道事業者との連携が必要であるが、支援の考えはあるのか。
		(2) JR九州と西鉄の駅間エリアの開発についてどのように考えているのか。
		(3) 太宰府と二日市中心街から二日市温泉との連携をどう考えているか。
		(4) 阿志岐山城跡と西の都等々、観光・文化施策の選択と集中をどのように考えているのか。
		(5) 「西の都」の広域連携について、連携協議会等の取組をどのように考えているか。